

## 第23回日ASEAN首脳会議

### 議長声明（和文概要）

（2020年11月12日）

- 新型コロナの影響軽減及び力強い回復に向けた共同の取組の強化に際して、日ASEAN協力の重要性を強調。医療物資及び機材の供与、並びにASEAN諸国のニーズに沿った技術協力の実施を通じた日本による2億米ドルを超える無償資金協力を歓迎。「新型コロナ危機対応緊急支援円借款」を含む総額25億米ドルの財政支援円借款の供与によるASEAN諸国の経済の維持・活性化のための日本のイニシアティブを歓迎。また、ASEAN首脳は、新型コロナに関するASEAN対応基金への日本の100万米ドルの貢献、並びに新型コロナの影響を軽減するためのASEANの取組及びイニシアティブに対する日本の継続的な支援を期待。（パラグラフ4）
- ASEAN感染症対策センターの設立に関する公式発表を歓迎、日・ASEAN統合基金（JAIF）を通じた50百万米ドルのコミットメント、及び、JICAを通じたさらなる人材開発の支援を企図した日本の意志を評価。地域における公衆衛生上の危機に対応するためのASEANの能力と取組を支援する、センターの完全な運用を期待するとともに、同センターを持続可能な形で維持するための日ASEAN協力を慫慂。（パラグラフ5）
- 多国間主義、地域主義、国際法の遵守の重要性を強調。ASEAN首脳は開放的、透明、ルールに基づく地域枠組みにおけるASEAN中心性への日本の継続的支援を評価。（パラグラフ6）
- ASEAN首脳は、インド太平洋に関するASEANアウトルック（AOIP）に対する日本の支持を歓迎するとともに、AOIPの目的及び原則に従って、AOIPに記載の4つの重要分野においてASEANと協働するよう日本に慫慂。これに関して、AOIP協力に関する第23回日ASEAN首脳会議共同声明を採択することで一致。（パラグラフ7）
- テロ、海洋安全保障、薬物の違法取引及びサイバーセキュリティを含む共通の利益及び懸念の安全保障上の課題に対応するための協力を引き続き強化することを決定。日ASEANサイバーセキュリティ・ワーキンググループ会合、日ASEANサイバーセキュリティ政策会議、日ASEANサイバーセキュリティ能力構築センター及び2021年3月に開催予定のASEAN諸

国及び他のパートナーが参加する産業用制御系システムサイバーセキュリティ訓練プログラムを通じたものを含む、サイバーセキュリティに関する協力強化を決定。(パラグラフ8)

- 日本の対ASEAN防衛協力イニシアティブであるビエンチャン・ビジョンの下でASEANとの防衛関係を促進すると日本の強いコミットメントに留意するとともに、最近立ち上がったビエンチャン・ビジョン2.0を通じて更なる関与の強化を期待。(パラグラフ9)
- デジタル時代におけるデジタル経済、革新、能力構築、人材開発等の分野における協力強化の必要性に係る見解を共有。これに関して、デジタル経済における機会を活用するため電子的な手段による国境を越えた情報及びデータの伝達を促進するとともに、国内及び国際的双方の法的枠組を尊重しながら消費者とビジネスの信用を強化することの重要性を認識。日ASEAN戦略的経済協ロードマップ(2016-2025)及び日・ASEAN包括的経済連携(AJCEP)協定を通じたものを含め、貿易・投資関係を一層深化及び拡大する必要性を認識。サービスの貿易、自然人の移動及び投資に係る章をAJCEP協定に盛り込むAJCEP協定第一改正議定書が、2020年8月1日にラオス、ミャンマー、シンガポール、タイ、ベトナム及び日本の間で、また、2020年10月1日にブルネイとの間で発効したことを歓迎。残りの国に対して、第一改正議定書の発効を期待。(パラグラフ12)
- 新型コロナの経済的影響を軽減し回復を促進するためにASEANと日本が共に取り組む必要性を強調。これに関し、2020年4月22日の経済強靱性に関する日ASEAN共同イニシアティブに関する日ASEAN経済大臣共同宣言を歓迎。また、2020年7月29日に、共同宣言を具体的アクションにするため、経済大臣により経済強靱化のための日ASEANアクションプランの採択及びイノベティブ&サステナブル成長対話(DISG)を歓迎。強靱なサプライチェーンの構築に際して地域パートナーとの協力を強化することの重要性を確認。(パラグラフ13)
- 2020年11月15日の第4回地域的な包括的経済連携(RCEP)首脳会議におけるRCEP協定の交渉妥結及び署名を歓迎。(パラグラフ14)

- 日ASEAN経済産業協力委員会（AMEICC）が実施する活動及び日ASEANイノベーションネットワーク（AJIN）の活動を賞賛。日ASEAN間の貿易、投資、観光、人的交流の促進において重要な役割を果たす日本アセアンセンターを賞賛。日ASEAN間の緊密な経済パートナーシップ促進における東アジア・アセアン経済研究センター（ERIA）の支援を歓迎。（パラグラフ15）
- ASEAN首脳は、ASEAN連結性マスタープラン（MPAC）2025及び2019年の連結性に関する第22回日ASEAN首脳会議共同声明の実施の進展に対する日本の継続的な支援を評価し、具体的協力を期待。地域の連結性強化及び開放性、透明性、ライフサイクルコストを考慮した経済性、債務持続可能性を含む国際スタンダード原則に則った質の高いインフラ開発の重要性を認識。現在実施中の約2兆円の陸海空の回廊連結性プロジェクトを中心に、ハード・ソフトの両面でASEANの連結性強化を支援する日ASEAN連結性イニシアティブの立ち上げに期待。日本とASEAN諸国の連結性強化のため、よりリベラルで互恵的な日ASEAN航空協定の締結を期待。日ASEAN交通連携（AJTP）の下で、地域の連結性向上に向けて、様々な協力プロジェクト及び活動の安定的進展を歓迎。（パラグラフ16）
- 2020年7月9日に開催された第13回日メコン外相会談及び2020年8月27日に開催された第12回経済大臣会合の結果を歓迎。（パラグラフ19）
- ASEAN首脳は、ASEANスマートシティネットワーク（ASCN）に対する日本の積極的かつ継続的な支援を歓迎。（パラグラフ20）
- 新型コロナウイルス感染症流行からの経済成長及び温室効果ガスの排出削減に向けた現実的で実践的なエネルギー政策の重要性を認識。全てのエネルギー資源や技術の駆使を含む、経済活動及び日々の生活を支える安価かつよりクリーンなエネルギーの安定的供給の重要性を再確認。（パラグラフ21）
- SDGs達成のため協力強化を再確認。ASEAN首脳は、生物多様性センターや新しい日ASEAN気候変動アクション・アジェンダを通じた協力促進を目的とした日・ASEAN環境協カイニシアティブの履行の進捗を歓迎

迎。日ASEAN環境協力対話（AJDEC）、第一回日ASEAN環境協力閣僚対話（AJMDEC）を通じた環境的に持続可能なASEANに対する日本の継続的支援を評価。

ERIAの海洋プラスチックごみに関する地域ナレッジセンターの設立を含む、ASEAN+3海洋プラスチックごみ協力アクション・イニシアティブを通じた海洋プラスチックごみ対策への日本の貢献を評価。ASEAN首脳は、持続可能な開発研究と対話のためのASEANセンター（ACSDSD）に対する日本の支援を歓迎。また、ASEAN首脳は、フードバリューチェーンの発展支援のための農業組合に対する新たな能力構築プロジェクトへの日本の貢献を歓迎。（パラグラフ22）

- ASEAN首脳は、防災人道支援調整センター（AHAセンター）に対する日本の継続的支援に感謝。東南アジア災害リスク保険ファシリティ（SEADRIF）を通じた日本の支援に感謝。（パラグラフ24）
- ASEAN首脳は、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）を含む、ヘルスケア分野の協力強化の継続を決意。ASEAN首脳は、アジア健康構想（AHWIN）の下での医療・福祉制度強化への努力を認識。活力ある高齢化及びイノベーションのためのASEANセンター（ACAI）に対する日本の支援を期待。（パラグラフ25）
- ASEAN首脳は、21世紀アジア青少年大交流計画（JENESYS）、文化のWAプロジェクト、日本・アジア青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプラン）、Sport for Tomorrow、東南アジア青年の船（SSEAYP）、アセアン元日本留学生評議会（ASCOJA）を通じた交流等、様々な事業を通じた人的交流及びスポーツ・文化交流に対する日本の継続的支援を歓迎。2019年から2021年にかけて文化・芸術分野での協力に関する日ASEAN作業計画及びASEAN文化遺産デジタルアーカイブプロジェクトの実施を含む文化協力のさらなる促進を決意。「2019年響きあうアジア」を含む、日ASEANのスポーツ・文化交流及び人的交流を促進する国際交流基金アジアセンターの2014年以降の積極的な努力を評価するとともに将来にわたる本プログラムの延長を期待。（パラグラフ26）

- ASEAN首脳は日・ASEAN統合基金（JAIF）への追加拠出を通じたものを含め、ASEANの発展に対する日本の継続的な支援に感謝。ASEAN共同体の強化に向けた取組に資する日・ASEAN技術協力協定の効果的な実施を期待。海洋ごみ管理、戦略的な港湾運営、信頼できる物流システムに関する今後のプロジェクトの実施を歓迎。（パラグラフ27）
- 南シナ海における平和、安全保障、安全並びに航行及び上空飛行の自由を維持・促進する重要性を再確認。2002年の南シナ海行動宣言（DOC）全体の完全かつ実効的な履行の重要性を強調。相互に同意されたタイムラインの中で、1982年の国連海洋法条約（UNCLOS）を含む国際法に整合する、効果的で持続的な南シナ海における行動規範（COC）の早期妥結に向けた実質的な交渉を慫慂。特に、当事者間の信用及び信頼を強化するための信頼醸成と予防措置、並びに、実務的で互恵的な協力を実施する重要性を強調。南シナ海における埋立て、活動、深刻な事案を含む最近の情勢をめぐり、一部の首脳により表明された深刻な懸念に留意し、信用及び信頼を損ない、緊張を高め、また、この地域の平和と安全保障及び安定を損ない得る南シナ海における埋め立てやその他の活動を含む最近の事態の進行に対して深刻な懸念を表明。1982年UNCLOSを含む国際法の普遍的な諸原則に沿って、相互の信用及び信頼を高め、紛争を複雑化又は悪化させ平和と安定に影響し得る活動の実施に当たっては自制し、状況を更に複雑化させる可能性のある行動を回避し、紛争の平和的解決を追求する必要性を再確認。海洋権原、主権的権利、管轄権及び海域における正当な利益について決定する基準となり、海洋・海域における全活動がその範囲内で行われなければならない法的枠組みを設定する1982年UNCLOSを含む国際法を遵守する重要性をさらに再確認。非軍事化及び、DOCで言及された事項を含め、南シナ海における状況を更に複雑化させ緊張を高め得るクレイマント国やその他全ての国による全ての活動における自制の重要性を強調。（パラグラフ28）
- 非核化された朝鮮半島の恒久的な平和及び安定を実現するため、全ての当事者による継続した平和的な対話の重要性を強調。全ての当事者に対し、平和的な対話を再開するとともに、板門店宣言文、平壤共同宣言及び米国と北朝鮮の首脳による共同声明の完全かつ迅速な実施を通じたものを含め、非核化された朝鮮半島の恒久的な平和及び安定の実現に向けて、建設的に取り組み続けることを求めた。朝鮮半島の完全な、検証可能な、かつ不可逆的な非核化を実現するための国際的な取組の重要性及び全ての関連する国連安

保理決議の完全な履行へのコミットメントを改めて表明。ARFといったASEANが主導するプラットフォームの活用を通じたものを含め、当事者間の平和的な対話に資する雰囲気をつくる重要性を改めて表明。拉致問題の早期解決を含む国際社会の人道上の懸念に対処することの重要性を改めて表明。(パラグラフ29)

(了)